

別紙2

三重県 中央会情報連絡員報告総括表 (令和8年5月)

情報連絡員数	40	名	回答者数	40	名	回答率	100.0	%
--------	----	---	------	----	---	-----	-------	---

業界の景気動向(前年同月比)

		売上高			在庫数量			販売価格			取引条件			収益状況			資金繰り			設備操業度			雇用人員			業界の景況		
		増加	不変	減少	増加	不変	減少	上昇	不変	悪化	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	上昇	不変	悪化	増加	不変	減少	好転	不変	悪化
製 造 業	食 料 品	0	4	0	0	4	0	2	2	0	0	3	1	1	1	2	0	4	0	0	4	0	0	4	0	0	2	2
	織 維 工 業	0	1	2	0	2	1	2	1	0	0	3	0	0	2	1	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0	1	2
	木 材 ・ 木 製 品	0	1	1	0	0	2	0	1	1	0	1	1	0	1	1	0	2	0	0	1	1	0	1	1	0	1	1
	紙 ・ 紙 加 工 品	0	1	0	0	0	1	1	0	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0	1
	印 刷	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1
	化 学 ・ ゴ ム																											
	窯 業 ・ 土 石 製 品	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0	3	0
	鉄 鋼 ・ 金 属	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0
	一 般 機 器	2	0	1	0	3	0	2	1	0	0	2	1	1	1	1	0	2	1	0	1	2	0	3	0	1	1	1
	電 気 機 器	0	0	1	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	0	1
	輸 送 機 器	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	1	0	1	0
	そ の 他																											
小 計		4	11	5	1	15	4	8	11	1	1	16	3	3	10	7	0	17	3	1	13	6	0	17	3	1	10	9
非 製 造 業	卸 売 業		2		0	1	1	2	0	0	0	2	0	0	1	1	0	2	0				0	2	0	0	1	1
	小 売 業	1	3	2	0	5	1	2	4	0	1	2	3	1	2	3	1	3	2				0	6	0	1	2	3
	商 店 街		1		0	0	1	1	0	0	0	0	1	0	0	1	0	1	0				0	1	0	0	1	0
	サ ー ビ ス 業	1	3					1	3	0	0	4	0	0	3	1	0	3	1				0	4	0	0	3	1
	建 設 業		3	1				3	1	0	0	1	3	0	1	3	0	3	1				0	2	2	0	2	2
	運 輸 業		1					1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0				0	1	0	0	1	0
	そ の 他		2					0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0				0	2	0	0	2	0
小 計		2	15	3	0	6	3	10	10	0	1	12	7	1	10	9	1	15	4				0	18	2	1	12	7
合 計		6	26	8	1	21	7	18	21	1	2	28	10	4	20	16	1	32	7	1	13	6	0	35	5	2	22	16

最近の主要指標の前年同月比D I の推移

(令和7年5月～令和8年5月)

三重県中小企業団体中央会

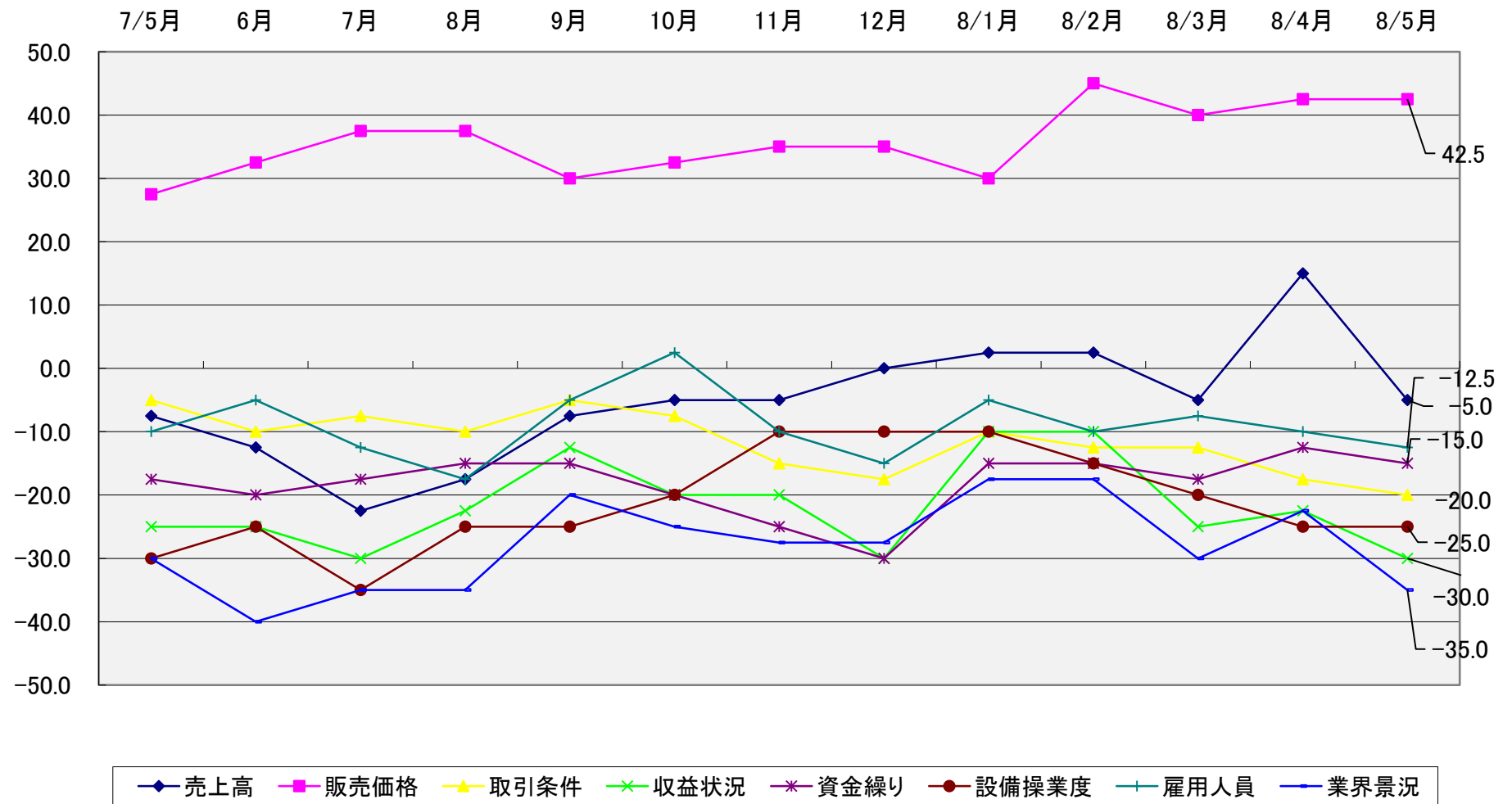
連絡員総数 40 名

	7/5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	8/1月	8/2月	8/3月	8/4月	8/5月	増減
売上高	-7.5	-12.5	-22.5	-17.5	-7.5	-5.0	-5.0	0.0	2.5	2.5	-5.0	15.0	-5.0	-20.0
販売価格	27.5	32.5	37.5	37.5	30.0	32.5	35.0	35.0	30.0	45.0	40.0	42.5	42.5	0.0
取引条件	-5.0	-10.0	-7.5	-10.0	-5.0	-7.5	-15.0	-17.5	-10.0	-12.5	-12.5	-17.5	-20.0	-2.5
収益状況	-25.0	-25.0	-30.0	-22.5	-12.5	-20.0	-20.0	-30.0	-10.0	-10.0	-25.0	-22.5	-30.0	-7.5
資金繰り	-17.5	-20.0	-17.5	-15.0	-15.0	-20.0	-25.0	-30.0	-15.0	-15.0	-17.5	-12.5	-15.0	-2.5
設備操業度	-30.0	-25.0	-35.0	-25.0	-25.0	-20.0	-10.0	-10.0	-10.0	-15.0	-20.0	-25.0	-25.0	0.0
雇用人員	-10.0	-5.0	-12.5	-17.5	-5.0	2.5	-10.0	-15.0	-5.0	-10.0	-7.5	-10.0	-12.5	-2.5
業界景況	-30.0	-40.0	-35.0	-35.0	-20.0	-25.0	-27.5	-27.5	-17.5	-17.5	-30.0	-22.5	-35.0	-12.5

(注1) 「D I」はディフュージョン・インデックスの略で「増加」・「好転」したとする

企業割合から、「減少」・「悪化」したとする企業割合を差し引いた値である。

最近の主要指標の前年同月比DIの推移



情報連絡一覧票

	集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合等及び組合員の業況等（景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点）
製 造 業	食料品	漬物	生産者の高齢化と後継者不足により、一部業者の中では漬物原料野菜の供給不足が続いており、また、イラク戦争の影響及び円安による諸資材の高騰により、経営を圧迫する状態が続いている。昨年から米の価格高騰の影響により、米の消費が減少しており、それにつれて漬物の消費も伸び悩んでいる。 また、新年度の通常総会を5月13日に津市において開催し、原案どおりに採決された。更に中央会の事業を活用し、5月20日に鈴鹿市で生成AI活用に関する研修会を開催した。更に中央会に指導してもらい、当組合のホームページの改修を行った。
		醤油味噌	GWは伊勢方面への観光客が増加し土産物関連の販売が好調だった。中東紛争の出口がまだ見通せない状況のなか、全国的にナフサ由来の資材が手に入らないと報道されている。包装資材では、容器、キャップ、フィルム、PPバンド等が不足になり始めた。政府は石油の安定供給に取り組んでいるが、市場ではどこかで流通の目詰まりが起きているように感じる。米国のバイオエネルギー増から少しずつ大豆相場が上がってきている。小麦も米国産が干ばつで減産となり値上がりしてきている。
		他に分類されない食料品 製造業	7年度の決算はひどいものだった。賃金引上げ、社会保険加入、外注増、学校生徒数減少等原因はいろいろ考えられるが初めての赤字決算で困惑だ。しかし、4月から加工賃の引き上げが決まり一息ついたかと思う。役員給与の減額や賞与の減額、外注を考え直すなど対策を考えている。
		製麺	中東の戦争による原油の高騰により関連製品の値上、また、商品の品不足が懸念される。製造業としてすぐに値上げのできるところから値上げしていく予定である。価格協定はできないがこの難局を乗り切れるように業界をあげて取り組んでいく。5月27日の総会ではお世話になりました。6月10日（水）は全国製麺協同組合連合会の総会があり参加させていただき業界の取り巻く環境の変化に対応できるように取り組んでいく。今後ともよろしくお願いします。
	繊維工業	衣料縫製	受注状況は良好であるが、光熱費・資材等の値上がり率が利益率の低下を余儀なくされている。賃金の値上がりもあり、経営状態の悪化が予測される。
		テントシート	6月、7月にかけて材料価格が2割程値上げされると通知されているが、流通の目詰まりの解消と過剰な発注を控えていただきたい。
	木材・木製品	木材	中東情勢によるナフサショックとも言われる住宅資材等の入手困難な状況から住宅着工の遅滞が続いている。円安、輸送コスト、燃料費の高騰等もあり、国産材製品の荷動きは依然として低調な中、コストに見合った価格転嫁は進んでいない。
		木材チップ	原材料価格が高止まりしているため原料確保が課題である。従業員の確保が困難となっている。機械や消耗品、修理費の価格が高い。
	紙・紙加工品	古紙	5月の仕入れ量は、段ボール・約92±4%位、新聞、チラシ・約91±4%位、雑誌・雑がみ、その他を合わせて約90±4%位である。以前より古紙の発生量・仕入れ重量はスマートフォン等の普及と少子高齢化と国内人口の減少に伴い大幅に減少する予測が現実化しているようである。特に三重県内は生き残り戦略で廃棄物事業者の皆様や大手県外同業者様の古紙仕入れ主戦場と言えそうな状況のようで、当組合員の古紙集荷量が増える会員と減る会員に分かれて、多くの組合員は経営が厳しいようである。私たちの業種も働き手不足に対応して機械化と更なる効率化への経営転換を迫られているが月給20,000円弱程の賃金上昇と、時給が700円後半から現在1100円まで程の最低賃金となり経済的に大きな負担で、更に人手が足らなくなると経営者の精神的な負担も大きく増えると思う。紙板原紙の値上げは9割ほどのユーザーから合意が得られているようで紙の方はこれからであるが、必要最低限・社会生活・必需品への消費方向となりながらもアメリカのイラン原油輸出禁止措置のホルムズ海峡閉鎖が続く、原油不足の情報でトイレットペーパー等の家庭紙の特需があったようである。5月ゴールデンウィーク中の古紙や古着・金属の持ち去り、ゴミ等の置き去り行為もなくなり、金属の持ち去りの法律は、つい最近登録制で国会を通過したようである。古紙業界も明瞭で分かりやすい社会的な姿勢を示し、回収業者の売り買いや下店や代納業者によるロンダリング取引を警察が取り締まれる法的根拠を盛り込めるように切に願っている。

情報連絡一覧票

	集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合等及び組合員の業況等（景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点）
	印刷	印刷	今年も三重県より、三重県民手帳事業の当組合への受託が決定した。今回で13回目（13年連続）となるが、組合員が制作から販売まで一体となって取組み、組合販売による収益確保で組合活動の安定化、また組合員による個々の販売で収益に繋がる事業は、組合活動において有益なものとする。 当月は総会プラス役員改選期であったが、滞りなく各議案について承認された。 中東情勢の悪化により、原油不足から石油関連の資材が軒並み値上げされている。また封筒などにおいても、7月から値上げとなる。供給については、まだそこまで入らないということはないが、今後の情勢によっては他業種のような品薄になる可能性はある。
	窯業・土石製品	伊賀焼	物価高騰によるエネルギー価格の高騰は業界にとっては厳しい状態である。これを回避していただくための対応をすみやかに考えて頂きたい。
	鉄鋼・金属	鍍金	新年度に入っても業界の生産額は、総じて堅調な状況である。自動車車載部品関係、特にEV関連の受注が好調である。ただ、不透明な中東情勢の影響により経費の高騰が顕著になってきており、収益が圧迫される可能性がある。
	一般機器	四日市市	中東情勢の影響でナフサ等の不足が騒がれて2カ月ほど経つが、今のところ状況が安定したとの話は入ってこない。ただ原材料の生産が足りないわけではなく、受注の集中により、原材料の発注量が多いことが原因となって入手しにくい状況が続いているようである。半導体向け機械の景況は良いようで、機器等の入手が難しくなっている。
		津市	材料の高騰に伴う単価UPにより売上高だけは上昇している状況で、収益としては悪化した。ニュースでも売上が過去最高ということをするが、利益はよほどのことがない限り増えない。昨年からの材料価格は、異常なほど高騰しているように思える。加工油や運送費も軒並み値上がりしているが、これに関しては、なかなか値上げが認めてもらえず、この状況が続くと体力のない中小企業は立ち行かなくなる恐れがある。
		伊勢市	先月に引き続き景況感の良い。工作機械も自動車の関係も良い。しかし、イランでの紛争が長引いてきていて、石油の流通困難の影響で石油製品の値上げや不足が心配である。現実にはモノの値上げや品不足の問題が出てきていて先行きに不透明感がある。
	電気機器	鳥羽市	受発注の悪い状況は変わらず雇用調整助成金を使いながら対応している。発注量は40%ダウンで推移している。
	輸送機器	伊勢市	受注は自動車部品、一般機械器具ともに増加。採算面では、新規受注等での寄与に加え、既存品でも好転した。ただし、企業物価の値上がりによる収益圧迫の流れは継続している。イラン情勢の影響で、機械油や手袋など、調達面で不安が有り、調達できる場合でもコスト増加の要因となる。昨年に続く賃上げ実施で、今後の人件費の増加は必至。エネルギー価格高騰の影響も、今後は動力費（電力、ガス料金等）の大幅な値上がりも見えている状況である。製造業に必要な部材の入手困難、各経費の上昇、人員不足、BCPなど、難しい舵取りが続く。
		青果	【野菜前半】全体的に順調で値段も落ち着いている鹿児島産、長崎産、ジャガイモ、愛知産タマネギ、徳島産ニンジンの入荷が増え値下がりしている。キャベツも安定して入荷、ゴーヤ、オクラ、ラッキョウの入荷も始まった。宮崎、熊本、長野産のズッキーニもお買得に。ブロッコリーは品種の切り替わりで少なく、高値傾向になっている。 【野菜後半】順調であり、中でもジャガイモ、タマネギ、ニンジンの入荷が多く、価格も安い。ラッキョウが旬を迎え、土付き・洗いラッキョウ入荷が増え、今が漬け頃である。洗いラッキョウが漬ける際は熱湯にさっとくぐらせるだけでよく、うまく漬ければ1年間もつ。トウモロコシ、ズッキーニ、ゴーヤ、オクラの値が落ち着いてきた。新ショウガは高知、和歌山産の入荷が増えてきた。 【果物前半】暑い日差しが感じられる季節となり、一早く夏の味覚が出回っている。宮崎産のマンゴーが最盛期を迎えつつあり、贈答用として人気。メロンは数も種類も多くなり、熊本産のアンデスメロンは終盤に。赤肉メロン、タカミメロンはピークを迎えている。大玉で糖度の高い肥後グリーンは最高である。熊本産スイカは甘味が十分である。沖縄産パイナップル、山形産サクランボの入荷が始まった。県内産イチゴは終盤になりお買得になっている。 【果物後半】スイカ熊本産のほか愛知産の入荷が始まり甘味たっぷりである。和歌山産ウメの入荷が始まったが病害虫の影響で今年も不作で値段も高め。愛知産ハウスみかんも少しずつ入荷してきた。メロンは数、種類ともにそろい価格も下がってきた。

情報連絡一覧票

	集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合等及び組合員の業況等（景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点）
	小売業	自転車	5月21日総会が終了した。組合員の中からは景気の先行きは前年度以上に厳しく、消費者の購買意欲が増々減退しているとの声が多く聞かれる。ここにきて自転車業界を取り巻く環境は近年自転車事故件数が増加傾向となっている。この4月から施行された「交通反則通告制度」いわゆる青切符により、市場は短期的に利用控えの懸念が生じた感がある。5月は自転車月間、国内最大規模の自転車ロードレース、ツアー・オブ・ジャパンはステージ制のロードレース大会で第3ステージ「いなべ大会」が大阪・京都に続いて開催された。世界レベルのトップレーサーが終結し、127kmの公道サーキットコースである。いなべの豊かな自然を満喫、また、グルメやオリジナルグッズも販売され春の1日が楽しめた。
		電器	5月に入り気温が例年より高くなる日が出始めてエアコンの問い合わせがくるようになった。2027年問題の問い合わせも多く、そこから成約に繋がるケースも出てきた。価格は近年の値上がりはあるものの2027年から普及モデルの価格がかなり上がることから、今のうちに購入しておきたいという話もあるので今期は単価より台数が上がると思います。
		石油	中東情勢の悪化が長引いているが、4月に不足していた重油、軽油については、仕入れ価格の安定までには至っていないが、仕入れ困難な状況は解消されつつある。 現在は、組合員が行っている車体整備や板金塗装の現場で、ナフサ不足を背景にした塗料やシンナーの供給に影響が出ている。シンナーの供給量が通常の半分程度に対し、在庫の確保を急ぐ塗料卸からの注文は通常の約3倍に膨らみ、需給の逼迫が深刻化していると聞いている。まだまだ、石油業界においては、中東情勢の悪化による影響が色濃く出ている状況である。
		スポーツ	中東情勢の影響がスポーツ業界にも押し寄せてきそうな気配である。各種競技のユニホームやトレーニングジャージ等のチーム名をプリントするインクが不足になったり硬式野球ボールの印字されるインクも不足する予想が出ている。
	商店街	熊野市	JR駅前にて市民参加型イベントが開催され大いに盛り上がった。商店街の朝市イベントも同時開催され特産品販売の他、フリーマーケット等の参加もありたくさんの買い物客で賑わいをみせた。ただ出店業者は仕入れ価格や資材の高騰などにより価格を以前より上げざるをえない状況になっており、今後の価格高騰に頭を悩ます業者も多いようである。
	サービス業	旅館	昨年は春のシーズンがひどい落ち込みであったが、今年はGWも10日ほど満館に近い日が続いていた。天候にも恵まれたため、コロナ前の業績まで回復した。課題としていた宿泊料金のUPについてはインバウンドのFITお客様の誘致が必須である。対前年同月比は130%、2019年同月比は90%位のものであった。
		警備	昨年同様ゴールデンウィークで稼働日数が少なかった。
	建設業	総合工事業	2026年4月の公共工事の県内企業の受注状況は、前年度同月と比べて微増となっている。内訳でみると、国、県、市町の発注がいずれも微増となった。一方で、中東情勢の影響からナフサ由来の資材において、大幅な単価上昇やメーカーからの供給の見通しがつかないものもあり、今後も不透明感があるため、工事価格や工期の影響に大きな懸念が発生している。
		内装工事業	対前年同月比で大幅なマイナスとなった。中東情勢の原油不安による物価高騰や原材料不足が業界内でも深刻なダメージを受け、非常に厳しい状況になっている。
		水道工事業（亀山市）	令和7年度の総会も無事終了した。今年度も前年と同様な完工を行うことができ、利益を出すことができた。また、亀山市より漏水、量水器の取替の委託を受注した。 資材については、報道にあるようにナフサ由来の塩ビ管等、ポリエチレン系の資材の納入が少量しか入手できない状況が、今後は入手できない状況になってくると思う。資材単価の高騰や入手困難が続くと工事受注ができなくなる恐れがある。
	その他の非製造業	療術業	物価高騰により高額商品の値上がりが7月からあるが、メーカーが在庫がなくなり次第6月から値上げすると言っていたので、顧客の出費が増えるため、この先を危惧している。

集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合等及び組合員の業況等（景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点）
----------	-----------------------	---

行政庁・中央会に対する要望事項

集計上の分類業種	具体的な業種	行政庁・中央会に対する要望事項、または関心のある事項、意見等
食料品	他に分類されない食料品 製造業	工場が古くなると設備の老朽化が顕著にみられる。機械の見積りを出しても新品でないと補助金は出ない。中古、修理でも補助金は出ないのかと思うと難しい。
食料品	製麺	税制専門委員会おつかれさまでした。今後もよろしく願いいたします。感謝です。
繊維工業	衣料縫製	他の産業でも同様だと思いますが、人材難、施設の老朽化が問題です。日本人並みの外国人の雇用制度の確立、繊維産業の国内比率は2%を割り込んでいます。機械メーカーも衰退の一途です。機械メーカーと共同での開発費の援助制度をお願いします。
小売業	石油	原油の輸入量を安定させ、価格の高騰が一段落するまでは、引き続き緊急的激変緩和措置の継続を強く要望する。
一般機器	四日市市	中東情勢の今後の行く末に対する不安が良くない状況に繋がっている。不安を解消する施策があればぜひお願いしたいです。
サービス業	旅館	インバウンドのFITのお客様が回ってくるような仕掛け、宣伝を継続して実施してもらいたい。石油関連製品の安定供給を望みます。